

製造業

- ◇**パン**…原料の値上げ等も含め業界全体が低調。参院選でねじれ状態が解消され、中小企業がもっと元気を取り戻し安心した生活ができるよう期待したい。
- ◇**酒**…6月の課税移出数量は前年比92.4%と依然として前年を下回っているが、特定名称酒については堅調な伸び。また輸出免税数量は毎年増加しており6月現在過去1年間の伸びは108%と順調。焼酎乙類は前年比117.8%と持ち直している。京都市他10自治体で「日本酒で乾杯推進条例」を可決。4月から販路開拓支援事業をスタートさせ新規需要開発に取り組んでいる。
- ◇**納豆**…約10ヶ月続いた小さな納豆ブームが終わり、売上は通常モードに戻ったように思う。暑さが一因かもしれない。収益状況は円安・原油高で殆どの原料資材が上昇しているが、流通への納品価格への転嫁は進んでいないため厳しくなっている。
- ◇**菓子**…早々に梅雨明け涼菓中心の商戦が始まり売上は伸びたが、和菓子類は伸び悩み全体的に見ると保合であった。原材料の値上がりで一部の商品には転嫁されるものが見られたので今後の推移を見守りたい。
- ◇**繊維製品(袋物)**…7/22、第18期外国人技能実習生を受け入れたが、中国での募集がうまくいかない様子。尖閣諸島問題などで日本の印象が悪くなっているのと、円安の影響もある。今後の人員確保の課題でもある。
- ◇**繊維製品(縫製)**…8月の盆休み間の注文量の消化と、東北方面の受注増により残業が多くなった。
- ◇**木材**…木材利用ポイント制度が7月から運用を開始。走りながら制度が固まっていくというかつてない対応を迫られた補助制度であるが、需要喚起を期待する声は大きい。この補助制度を利用した消費増税前の駆け込み需要に期待したい。住宅メーカーやビルダー関係向けのプレカット受注は順調であるが、地元工務店向けの受注は例年並み。流通では7月後半に入り一服感、木材市況は保合で推移。
- ◇**プレカット**…当月も好調で加工が間に合わず外注で対応した。8月は盆月でもあり上棟も減少すると思われる。資材関係の値上げは一服状態。
- ◇**段ボール**…全体的に良くなってきている。一部では忙しくなってきたところもありアベノミクス効果が出てきているのか。しかし足元では原材料の値上げがささやかれ、値上げとなれば収益に影響があり今後に注意したい。
- ◇**焼物**…夏場に入り、人の流れがなく、売上も落ち

込んでいる。秋の行楽シーズンに向け準備を進めていきたい。

- ◇**鍍金**…売上高については全業種で前年より低下。現在も受注は減少の方向であり、景気回復の傾向はまだ見られない。金属材料、工業薬品とも需給、価格は安定。鍍金加工代のコストダウン要求も出てきている。
- ◇**電化機器**…当月の生産高は、対前年同月比で81百万円(8.66%)増となる1,027百万円。前月比で192百万円(23.0%)増となったが、増加している事業所は一部に限られ、全体的には厳しい環境が続いている状況。
- ◇**自動車部品**…生産高の減少傾向にはやや歯止めが掛ったと思われるが、依然として例年の水準には及ばない。
- ◇**工業団地(農機部品)**…組合員7社中4社が売上増で、全体では前年同月比107%。生産動向は、団地全体としてはまずまずであるが、各社毎に見ると少しバラツキが出てきた。年度前半はトータルとして順調であるが、納品先メーカーの海外生産動向や、国内における来年度の消費税アップに対する駆け込み受注も考慮した、本年度対応・来年度動向を注視する必要がある。

非製造業

- ◇**セメント卸**…袋セメントの出荷袋数は前年同月比約15%減少。期初にアベノミクス効果で設備投資の増加を期待していたが、建設工事は9月以降にずれ込む予想。9月以降に工事が集中し品薄も心配されている。
- ◇**水産卸**…精算所取扱高は前年同月比1.48%増。円安により仕入れ価格・販売価格が上昇。一般買受人の仕入量は減少傾向。
- ◇**食品卸売**…野菜は前年に比べ入荷増・単価高、果実に関しては入荷減・単価並にて推移。全体としては上向きの傾向にあるが、大型店と一般小売店との二極化が進んでいる。
- ◇**県南地区卸売**…売上高やや減少、収益状況悪化により資金繰りが厳しくなりつつある。
- ◇**県北地区共同店舗**…売上減少に伴う小予算化で、可能な集客策を思案投げ首するばかり。
- ◇**県央地区共同店舗**…天候不順により衣料品の売上が低迷した。競合激化による客数減少で、食料品の売上も伸びない。
- ◇**県南地区共同店舗**…夏季中元セール需要が低迷し、4~6月期平均より前年比売上が減少し厳しい状況を脱せない。客数も4~6月期水準を下回った。

- ◇家電…例年7月は売上が伸びるが、今年は特に梅雨明けが早かったことで、エアコン需要が増加した。FC参加グループの店では、前月比210%と大幅に売上が増加、対前年同月比でも126%と増加しており、久しぶりに明るさを取り戻している。
- ◇中古自動車…当月はカレンダーの関係でオークションが1回多く開催され、売上・収益ともに大きく伸びた。しかしながら、小売店は厳しい状況が続いており、それを反映してか、一開催あたりの平均来場者が大きく減少している。
- ◇石油…原油高騰及び円安の影響によりガソリンの販売価格は前年同月比で16円上昇しているが、仕入価格の値上がり分を完全に転嫁しきれていない上、販売数量も減少しているため、収益状況は悪化し、休業・廃業に追い込まれる組合員が増加。
- ◇ホテル旅館…夏休みに入ってから天候不順のため、海水浴客は伸び悩んでいる。特に東北の海岸線は厳しい。ビジネス客は地区によって明暗が分かれている。
- ◇自動車整備…組合員事業場の車両在庫状況指数である継続検査台数(持込検査)の対前年同月比は、普通車103.3%、軽自動車105.4%と好転。
- ◇総合建設…下水道災害復旧工事が概ね終了し新規の下水道敷設工事が発注になった。新規工事は一般競争入札が多く予定価格を10~20%下回る価格で落札、仕事不足が原因と考えられる。建築工事も大型の工事が入札されたが工事内容の良否によって受注希望者の偏りが多いため低価格入札と不調が同時に行われた。長期の建設不況により技術者が不足しており、受注できる仕事量が制限されていることも要因。鉄骨の耐震補強工事は、鉄骨製造工場が減少しており需要に対し供給が追いつかないため不調入札も発生した。
- ◇管工事…工事発注件数が増えているため、売上高は好転している。

- ◇交通安全施設…資材の価格が上昇している。
- ◇電気工事…調査業務全般の委託料が震災後から徐々に減っていたが、ここに来て、震災前と比べ40%程度まで減り、調査業務の先行きが不安である。原因は東京電力の委託業務となっているためであり、益々厳しい条件となりつつある。組合としては、収入が減少し調査員に対する支払いが厳しくなりそうである。
- ◇東北地区運輸…主要顧客各工場の物量は押しなべて昨年並みとなっているも、出荷物量が減少し、組合員の売上高は減少している。燃料価格は値上がり傾向を示しており、収益についても厳しい状況である。
- ◇県央地区運輸…飲料水関係、建設(建材、ハウスメーカー)関係は良好。後半から、生活用品・雑貨、ホームセンター、食品店等の動きが盛んになる。一方、軽油は値上がりが続く収益にはつながらない。

H25.7月の業界天気図

業種	指数	売上		収益状況	
		前年同月比		前年同月比	
食料品業		▲	66.7		▲ 50.0
その他製造業		▲	5.0		▲ 30.0
卸売業		▲	25.0		▲ 50.0
小売業(商店街を含む)		▲	27.3		▲ 18.2
サービス業			0.0		0.0
建設業		▲	50.0		▲ 75.0
運輸業		▲	50.0		▲ 100.0
全体		▲	24.5		▲ 36.7

【天気図の見方】県内情報連絡員から毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は、「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(D.I値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

※表の中の数値はD.I値



エコアクション21は、環境省が策定した中小企業にも取り組みやすい環境経営システムです。

特定非営利活動法人『環境NPOいばらき』とは、

エコアクション21

「エコアクション21審査人」の茨城県内の有志で法人登録したスペシャリスト集団です。

事業等

1. エコアクション21の認証取得支援活動、並びにエコアクション21の普及活動
2. エコアクション21審査人として、認証取得を希望する企業の相談、並びにコンサルティング活動
3. エコアクション21審査人の育成教育
 - ※「エコアクション21地域事務局いばらき(茨城県中小企業団体中央会)」の運営委員会の中に会員が委嘱され、エコアクション21の普及に努めています。

特定非営利活動法人環境NPOいばらき

*連絡先：所在地：〒310-0836 水戸市元吉田町2649-21 代表者：飛田 秀幸
 TEL：029-247-4064 FAX：029-248-2958 / Email：BYA05445@nifty.com
 H P：http://kankyou-npo-ibaraki.com/ 何なりとお気軽にござ報ください。お待ちしております。